

2024（令和6）年度（公社）砂防学会信越支部 総会・講演会 開催報告

開催日：2024(令和6年)年5月2日（木）

時間：総会 14:00～14:45, 講演会 15:00～16:30

会場：長野市生涯学習センター 大会議室 1

【総会】

1 開会

藤井雄次運営委員の進行により開会

定足数の確認：会場出席者 44 名，議長への委任者 27 名，計 71 名出席

支部会員数 115 名に対して過半数を満たしており，総会は成立。

2 あいさつ

堤大三信越支部長

3 来賓紹介

大野宏之（一社）全国治水砂防協会理事長、（公社）砂防学会長

4 議事

- | | |
|------|------------------------|
| 議案 1 | 2023（令和5）年度 事業報告（案） |
| 議案 2 | 2023（令和5）年度 会計報告（案） |
| 議案 3 | 2024（令和6）年度 事業計画（案） |
| 議案 4 | 2024（令和6）年度 予算（案） |
| 議案 5 | 運営規程の改定（顧問及び事務局の設置）（案） |
| 議案 6 | 役員の推薦（案） |

- ・全ての議案について原案のとおり承認された。
- ・議案の承認を受け，平松信也氏を支部顧問として学会長へ推薦することとした。
- ・会計に収入の欄を設けていないことに関し，収入の手段を検討すること，との意見があり，今後検討していくこととされた。

5 報告

2025（令和7年）（公社）砂防学会研究発表会について，信越支部での開催が打診され，支部として受諾ならびに「長野大会」として計画し，準備していくことを報告。



【講演会】

演題 パネルディスカッション

「令和6年能登半島地震災害～大規模土砂災害時における砂防学会の役割と期待されること」

講演者

パネラー 大野宏之 (一社) 全国治水砂防協会理事長, (公社) 砂防学会会長
古谷 元 富山県立大学工学部教授、砂防学会信越副支部長
権田 豊 新潟大学農学部教授、砂防学会信越副支部長
柏原佳明 アジア航測株式会社国土保全コンサルタント事業部、砂防学会理事
コーディネーター 堤大三 信州大学農学部教授、砂防学会信越支部長

【内 容】

信越地域内で発生した令和6年能登半島地震災害に伴う土砂災害の実態と特徴について、古谷副支部長から概要ならびに現象別、箇所別に緊急調査の報告を踏まえ詳細に説明いただいた。

2月に実施された砂防学会・地すべり学会合同での先遣隊調査結果に基づく緊急提言(3月6日発表)に込められた考えについて大野学会長に説明いただいた。今後学会として取り組むべき課題として、地震に伴い発生した崩壊土砂の流動化現象のメカニズムの解明や地震による土砂災害のリスク表示の検討などが挙げられた。また、現地調査に先立って実施された斜面崩壊の地形解析結果について柏原理事から説明いただいた。既存の地形・地質データならびに活断層の位置に加え、発災後直ちに公開されたK-NETによる地震加速度や国土地理院による崩壊分布データを整理、分析した結果、地質の影響、傾斜、傾斜方向、活断層からの距離と崩壊面積率の間に相関がある可能性が得られたことなどが今後の課題と共に示された。

パネラー全員による議論では、これまでの地震災害後の解析結果においても地域ごとの違いがあり、今回の結果を他の地域にあてはめることの難しさへの指摘とともに今後の研究の必要性が述べられる一方、突発的に発生する地震災害に対して、地形・地質等の情報を普段から蓄積しておくことが迅速な解析につながるなどの指摘もあった。会場からは地震に伴う土砂災害に関する研究を継続的に行っていくことの重要性に鑑み、学会としての取り組みを体制も含めて検討すべきとの指摘もいただいた。